

四日市ドーム詳細設計付大規模改修事業
公募型プロポーザル審査要領

令和8年9月

四日市市

四日市ドーム詳細設計付大規模改修事業
公募型プロポーザル審査要領

1. 審査の対象事業者

本プロポーザルの審査対象事業者は、四日市ドーム詳細設計付大規模改修事業に係る公募型プロポーザル実施要領に基づき、四日市市へ企画提案書を提出した参加者に限る。

2. 審査項目・配点

(1) 第一次審査（書類審査）

○企業要件	20点
○技術者要件	10点
○技術提案	50点
○価格点	10点

(2) 第二次審査（ヒアリング審査）

○プレゼンテーション・ヒアリング	10点
------------------	-----

(3) 合計（総合得点） 100点

3. 審査

「四日市ドーム詳細設計付大規模改修事業プロポーザル審査委員会」（以下「委員会」という。）を設置し、厳正な審査を行い、候補者を決定する。

4. 第一次審査

- (1) 企画提案書の書類による第一次審査を行う。
- (2) 提案価格が予定価格を超えている場合は、失格とする。

5. 第二次審査

- (1) 第二次審査は、以下のタイムスケジュールで実施する。
 - 準備（5分以内）
 - 注意事項の説明（約5分）
 - プレゼンテーション（20分以内）
プレゼンテーションの時間は評価の対象としない。
 - 質疑応答（約30分）
- (2) 出席人数は5名以内とし、特定JV代表企業の配置予定主任（監理）技術者がプレゼンテーション・質疑応答を行う。なお、評価対象は特定JV代表企業の配置予定主任（監理）技術者とし、配置予定主任（監理）技術者以外の者が、プレゼンテーション・応答をした部分については、評価の対象外とする。
- (3) プレゼンテーションは提出された企画提案書の内容に沿った説明を行い、制限時間を厳守すること。
- (4) 追加、補足の資料提出は受け付けない。ただし、企画提案書の概要をまとめた資料を投影・配布することは可能とする。
- (5) プロジェクター等を使用する場合は、事前にその旨を連絡すること。プロジェクター、

スクリーンは当方で用意するが、パソコンは持参すること。

- (6) 定められた時刻に遅れた場合は失格とする。ただし、やむを得ない理由がある判断できる場合（災害等）は、委員会にて協議を行う。
- (7) 審査結果の通知は、様式集の様式8「プロポーザル審査結果通知書」にて、企画提案書の提出のあったすべての参加者に郵送及び電子メールにより通知する。
- (8) 審査結果について説明を希望する参加者は、通知書に記載された期日までにその旨を記載した書面を提出すること。なお、審査結果に関する異議等は受け付けない。

6. 審査方法

「企業要件」「技術者要件」「価格点」は、定量に基づく評価点となるため各委員による採点ではなく、事務局により採点を行う。

「技術提案」「プレゼンテーション・ヒアリング」は、各委員の得点が異なるため、審査項目ごとに各委員の得点を平均し、平均点（小数点以下第3位を四捨五入して小数点以下第2位まで求める）により採点とする。

「企業要件」「技術者要件」「技術提案」「プレゼンテーション・ヒアリング」による評価点と「価格点」の合計である総合点数の最も高い参加者を候補者として決定する。（候補者が、2者以上ある場合は、技術提案で点数の高い参加者を候補者として決定する。それでも候補者を決しない場合は、価格点で点数の高い参加者を候補者として決定する。）なお、技術提案の合計点が10点以下の場合は候補者にならないものとする。

また、第二次審査後、1位であった候補者が失格等となった場合、総合得点で2位の参加者が候補者となる。

7. 審査の評価項目等

審査の評価項目、評価内容、審査項目、審査内容、評価対象、配点は、表1のとおりとする。

また、価格点は、価格提案書の提案価格に対して以下のとおり算定して求める。

価格点＝配点×最低提案価格÷提案価格

ただし、予定価格の75%未満の提案価格は、予定価格の75%として価格点を算出する。

表 1 審査の評価項目等

評価項目	評価内容	審査項目	審査内容	評価対象		配点	判 断 基 準				
				代表者	構成員		A	B	C	D	E
企業要件	工事地域 精通度	本店等所在地	本店所在地	○		1	市内に本店を有する	－	市内に受任者を有する	県内に本店又は受任者を有する	左記に該当しない
		市内での工事施工実績の有無	過去 15 年間（平成 23～令和 7 年度）に完成した 1 契約 2,500 万円以上の市内での工事施工実績の有無	○		1	市内での工事施工実績を有する	－	－	－	市内での工事施工実績がない
			過去 15 年間（平成 23～令和 7 年度）に完成した 1 契約 500 万円以上の市内での工事施工実績の有無		○	1	市内での工事施工実績を有する	－	－	－	市内での工事施工実績がない
	工事实績	工事施工実績	過去 15 年間（平成 23～令和 7 年度）に完成した同種・類似工事 ^{※1} の工事施工実績の有無	○		7	評価点＝配点×工事施工実績件数（同種工事は 1 件、類似工事は 0.5 件）/5 （提出する工事实績は 5 件以内とする）				
		工事成績平均	本市発注の当該工事業種の過去 5 年間（令和 3～令和 7 年度に完成した工事）の工事成績平均（当該業種）	○	○	2	当該業種の「工事成績平均の評価点」の算出方法 評価点＝（工事成績平均－70）×1/5 ※当該業種の工事成績平均が 80 点以上で満点 ※当該業種の工事成績平均が 70 点以下で 0 点 ※工事成績平均は、全ての構成員（代表者を含む）の工事成績の平均点とする				
	優良工事表彰	本市の優良建設工事請負業者表彰	当該年度を含む過去 5 年間（令和 4 年度表彰～令和 8 年度表彰）の当該工事業種の本市優良工事表彰実績の有無	○	○	2	当該業種かつ 1 契約の請負金額が当該発注工事予定価格の 2 分の 1（円未満切捨て）以上の工事における優良工事表彰の実績がある	当該業種かつ 1 契約の請負金額が当該発注工事予定価格の 2 分の 1（円未満切捨て）未満の工事における優良工事表彰の実績がある	上記以外で優良工事表彰の実績がある	－	実績なし
	地域・社会貢献度	障害者雇用の有無	障害者の雇用、法定雇用率の達成	○		2	法定雇用率を達成している又は法定雇用義務はないが障害者を雇用している	－	－	－	法定雇用率を達成していない又は障害者を雇用していない
		次世代育成支援活動実績の有無	くるみん認証取得の有無	○		1	プラチナくるみんの認証を取得している	くるみんの認証を取得している	トライくるみんの認証を取得している	－	左記に該当しない
		災害協定締結の有無	本市との災害協定の締結の有無	○		1	本市と災害協定を締結している	－	－	－	本市と災害協定を締結していない
		ISO、M-EMS の認証取得の有無	ISO9000S、ISO14001、M-EMS のいずれかの認証の取得の有無	○		1	認証を取得している	－	－	－	認証を取得していない
	安全衛生管理	労働安全衛生マネジメントシステム認証の有無	労働安全衛生マネジメントシステム（ISO45001、JISHA 方式適格 OSHMS）又は建設業労働安全衛生マネジメントシステム（COHSMS）の認証の有無	○		1	認証を取得している	－	－	－	認証を取得していない
技術者要件	施工実績	配置予定主任（監理）技術者の工事施工実績	過去 15 年間（平成 23～令和 7 年度）に完成した同種・類似工事 ^{※1} の工事施工実績の有無	○		5	主任（監理）技術者として同種工事の工事施工実績を 3 件以上有する	主任（監理）技術者として同種工事の工事施工実績を 1 件以上有する	主任（監理）技術者として類似工事の工事施工実績を 3 件以上有する	主任（監理）技術者として類似工事の工事施工実績を 1 件以上有する	左記に該当しない
	保有資格	設計者の保有資格	資格として一級建築士で構造設計一級建築士又は設備設計一級建築士資格の保有の有無	○		5	構造設計一級建築士又は設備設計一級建築士を有する	－	－	－	左記に該当しない

評価項目	評価内容	審査項目	審査内容 提案書の枚数の上限・ 提案書作成にあたっての注意事項	評価対象		配点	判 断 基 準				
				代表者	構成員		A	B	C	D	E
技術提案※2	【技術提案1】 実施方針・事業の課題解決	本事業の特性の理解、本事業の課題解決を図る上での留意事項と取組提案	具体性、的確性、実現性等をもって留意事項と取組提案が記載されているか。 【枚数の上限：A 4 × 2 枚】 ＜提案書に必ず記載すべきテーマ＞ ・本事業の特性を踏まえた実施方針 ・本事業の課題とその解決策	○		7	留意事項を踏まえた取組提案が優れている	留意事項を踏まえた取組提案が概ね優れている	留意事項を踏まえた取組提案が良好である	留意事項を踏まえた取組提案が概ね良好である	左記に該当しない
	【技術提案2】 実施体制・本市との連携	最適な実施体制や本市との連携を図る上での留意事項と取組提案	具体性、的確性、実現性等をもって留意事項と取組提案が記載されているか。 【枚数の上限：A 4 × 2 枚】 ＜提案書に必ず記載すべきテーマ＞ ・実施体制図及びその概要の説明、本市との連絡体制、事業者における連絡体制 ・本市との協議に係る方法・頻度 ・セルフモニタリングの方法・頻度 ・本市が実施するモニタリングへの協力に係る方策	○		6	留意事項を踏まえた取組提案が優れている	留意事項を踏まえた取組提案が概ね優れている	留意事項を踏まえた取組提案が良好である	留意事項を踏まえた取組提案が概ね良好である	左記に該当しない
	【技術提案3】 事業リスクへの対応	事業リスクへの対応を図る上で留意事項と取組提案	具体性、的確性、実現性等をもって留意事項と取組提案が記載されているか。 【枚数の上限：A 4 × 2 枚】 ＜提案書に必ず記載すべきテーマ＞ ・想定されるリスクと未然防止策	○		5	留意事項を踏まえた取組提案が優れている	留意事項を踏まえた取組提案が概ね優れている	留意事項を踏まえた取組提案が良好である	留意事項を踏まえた取組提案が概ね良好である	左記に該当しない
	【技術提案4】 事業スケジュール	確実な工事実施を図る上での留意事項と取組提案	具体性、的確性、実現性等をもって留意事項と取組提案が記載されているか。 【枚数の上限：A 4 × 2 枚以内＋工程表】 ※工程表（A 3 × 1 枚）を添付すること ＜提案書に必ず記載すべきテーマ＞ ・詳細設計付大規模改修事業ならではの工程管理や効率的な工事の実施方法 ・施設調査、設計、施工、検査の工程の具体的な内容（本市との協議や本市が行う確認の期間を考慮したもの） ・確実に工期内に完了するための方策（遅延防止策等）	○		5	留意事項を踏まえた取組提案が優れている	留意事項を踏まえた取組提案が概ね優れている	留意事項を踏まえた取組提案が良好である	留意事項を踏まえた取組提案が概ね良好である	左記に該当しない
	【技術提案5】 安全確保	工事の安全確保を図る上での留意事項と取組提案	具体性、的確性、実現性等をもって留意事項と取組提案が記載されているか。 【枚数の上限：A 4 × 3 枚】 ＜提案書に必ず記載すべきテーマ＞ ・工事ヤード内の安全確保（高所での作業に係る労働災害防止策、熱中症対策等） ・公園の利用者の安全確保 ・周辺道路の通行者や周辺環境への配慮（騒音、震動、粉塵の抑制を含む）	○		7	留意事項を踏まえた取組提案が優れている	留意事項を踏まえた取組提案が概ね優れている	留意事項を踏まえた取組提案が良好である	留意事項を踏まえた取組提案が概ね良好である	左記に該当しない

評価項目	評価内容	審査項目	審査内容 提案書の枚数の上限・ 提案書作成にあたっての注意事項	評価対象		配点	判 断 基 準				
				代表者	構成員		A	B	C	D	E
技術提案※2	【技術提案6】 品質向上	品質向上を図る上での留意事項と取組提案	具体性、的確性、実現性等をもって留意事項と取組提案が記載されているか。 【枚数の上限：A 4 × 4 枚】 ＜提案書に必ず記載すべきテーマ＞ ・基本計画書を踏まえた品質向上（施設機能の回復・改善）に向けた提案（市との協議、基本計画からの変更の実施内容や検討方法、劣化状況に応じた柔軟な対応方法等） ・構造鉄骨部材の仕上げ（再塗装） ・結露対策	○		10	留意事項を踏まえた取組提案が優れている	留意事項を踏まえた取組提案が概ね優れている	留意事項を踏まえた取組提案が良好である	留意事項を踏まえた取組提案が概ね良好である	左記に該当しない
	【技術提案7】 供用後への配慮	供用後の利便性向上や、メンテナンス性、省エネに対する配慮を図る上での留意事項と取組提案	具体性、的確性、実現性等をもって留意事項と取組提案が記載されているか。 【枚数の上限：A 4 × 3 枚】 ＜提案書に必ず記載すべきテーマ＞ ・トイレ改修や設置型授乳室の設置における利便性向上 ・音響環境の改善 ・メンテナンスの頻度削減や省力化、作業負荷の軽減 ・施設の環境性能向上	○		5	留意事項を踏まえた取組提案が優れている	留意事項を踏まえた取組提案が概ね優れている	留意事項を踏まえた取組提案が良好である	留意事項を踏まえた取組提案が概ね良好である	左記に該当しない
	【技術提案8】 市内経済への貢献	市内経済への貢献を図る上での留意事項と取組提案	具体性、的確性、実現性等をもって留意事項と取組提案が記載されているか。 【枚数の上限：A 4 × 1 枚】 ＜提案書に必ず記載すべきテーマ＞ ・市内に本店・支店等を有する企業の活用策、発注額の目標 ・資機材の市内調達における方策、発注額の目標 ・消耗品、燃料、飲食物等の市内調達における方策 ・市内企業等の育成に係る方策	○		5	留意事項を踏まえた取組提案が優れている	留意事項を踏まえた取組提案が概ね優れている	留意事項を踏まえた取組提案が良好である	留意事項を踏まえた取組提案が概ね良好である	左記に該当しない
プレゼンテーション・ヒアリング	専門技術力（ヒアリング）	配置予定主任（監理）技術者として、本工事に対する取組姿勢、技術力、コミュニケーション力	技術提案内容のプレゼン及びヒアリングを通じて特定 JV 代表企業の配置予定主任（監理）技術者として、本工事に対する取組姿勢、技術力、コミュニケーション力を審査	○		10	優れている	概ね優れている	良好である	概ね良好である	左記に該当しない
評価点 合計						90					

※1：同種・類似工事のうち、同種工事实績とは、延べ面積10,000㎡以上の施設で、大規模空間を有するスポーツ施設や文化施設の内、観客席（固定席）を有する施設の新築、改築、増築（増築工事は増築部分のみの面積とする）などの工事实績をいう。類似工事实績とは、延べ面積5,000㎡以上10,000㎡未満の施設で、大規模空間を有するスポーツ施設や文化施設の内、観客席（固定席）を有する施設の新築、改築、増築（増築工事は増築部分のみの面積とする）などの工事实績をいう。

※2：評価内容ごとに、提案書に必ず記載すべきテーマ以外に2点までの提案を可とする。